

## 地球温暖化による北海道の気候変化

世界の気温は、1891年以降、100年あたり約0.7℃と地球の歴史上、例を見ない急激な勢いで上昇しています。

北海道の気温も、観測データの均質性が長期間維持されている7地点（札幌、旭川、帯広、網走、根室、函館、寿都）の平均では、100年あたりおよそ1.59℃の割合で上昇しています（下図参照）。

また、短い時間に激しく降る雨の回数にも増加傾向が現れるなど、雨の降り方にも変化が見られます。

これらの変化の主な要因は、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの増加による「地球温暖化」及び都市化の影響の可能性があると考えられます。

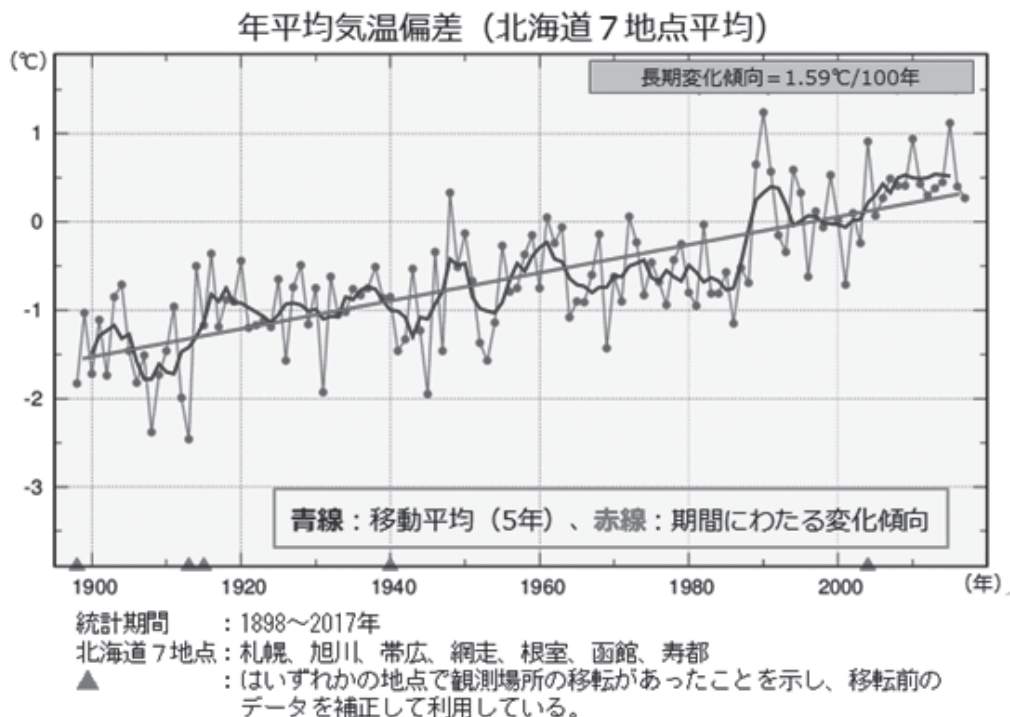
今後更に温室効果ガスを出し続け地球温暖化が進行した場合、北海道における将来の気候はどのようなのでしょうか。

将来に向けた温室効果ガスの排出・増加の変化量を仮定したシナリオはいくつかありますが、最も高程度に温室効果ガスが増え続けるとしたシナリオの場合、北海道地方では、21世紀末（2076年～2095年）には20世紀末（1980年～1999年）と比較して次のようになる予測となっています。

- ・年平均気温が5℃程度上昇
- ・大雨（日降水量100mm以上）の年間発生日数の頻度が約3倍に
- ・バケツをひっくり返したような雨（1時間降水量30mm以上）の年間発生回数の頻度が約4倍に

このような地球温暖化による気候の変化が、熱中症の増加や大雨による災害の増加、農作物の収穫量の低下など、さまざまな分野へ影響をもたらすことが懸念されています。

私たちができる地球温暖化への対策として、節電などエネルギー消費をできるだけ少なくして二酸化炭素の排出を削減する「緩和策」をさらに講じるとともに、地球温暖化に伴って生じるさまざまな影響へ備える「適応策」も推進していく必要があります。



なお、これまでの気候変化や将来の予測情報については、以下のURLからご覧いただけます。

「北海道の気候変化 第2版」

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/tenki/kikou/kikohenka/kikohenka.html>

「地球温暖化予測情報 第9巻」

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/GWP/index.html>

【お問い合わせ】札幌管区気象台天気相談所 電話 011-611-0170